

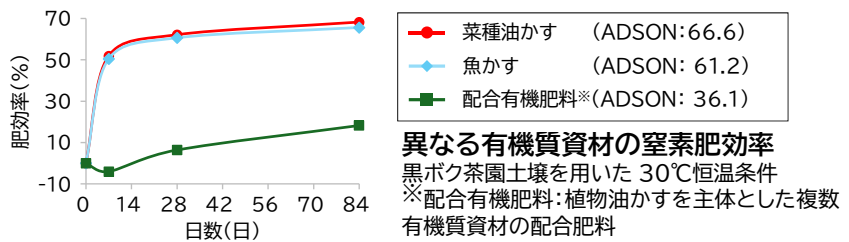
三重県内の茶園土壌における有機質資材に含まれる窒素の肥効見える化

利用対象:有機栽培茶生産者、指導者

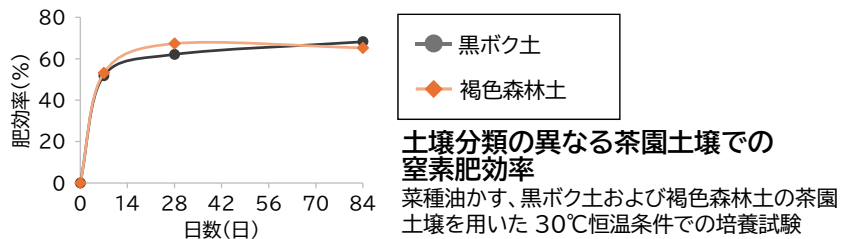
茶園土壌における有機質資材の窒素肥効は、土壌の種類による差は小さく、資材に含まれる酸性デタージェント可溶有機態窒素 (ADSON) 含量*を把握することで見える化できます。本成果が基礎データの一部として活用されている「有機質資材の肥効見える化アプリ (茶園版)」では、インターネットの地図上で茶園の場所と有機質資材の種類を選択し、施用量と施用日を入力することで有機質資材からの肥効が算出できます。

※有機質資材の ADSON 含量は、土壌中で分解されて生成する窒素無機化量と高い正の相関 (小柳ら、2016 ; 小柳、2017)

有機質資材に含まれる ADSON 含量が多いほど窒素肥効が大きい

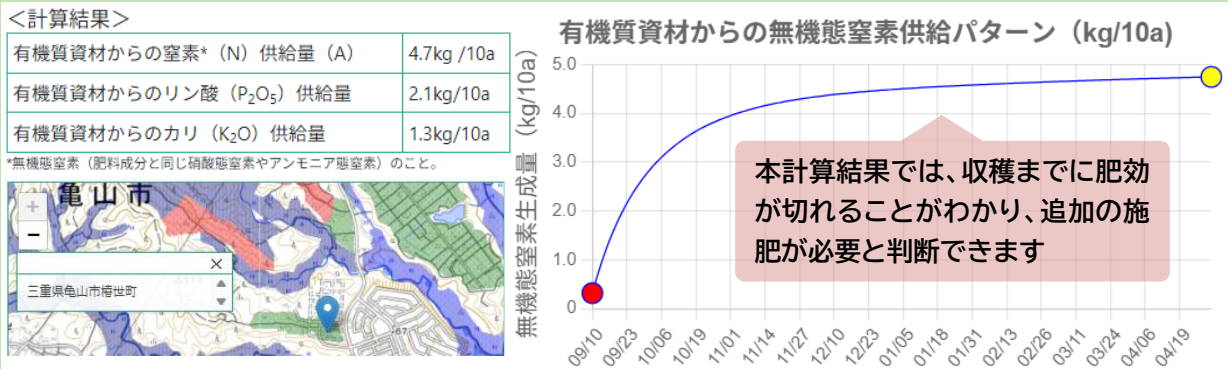


茶園土壌では、土壌分類の違いによる窒素肥効の差は小さい



アプリによる有機質資材から供給される肥料成分計算結果の表示例

農業研究所茶業研究課茶園(亀山市)において、植物油かすを 100kg/10a 施用とした場合
施用日:9月10日 収穫日:5月1日 として入力



有機質資材からの窒素供給量並びに窒素供給パターン、さらにはリン酸及びカリウムの供給量が算出され、資材選択や施肥日決定の参考にできます。

アプリ利用上の留意点:アプリで利用している気象条件は、選択地点の最寄りのアメダス地点から得られた過去 30 年の平均データのため、その年の気象状況により算出した供給パターンと肥効のずれが生じる場合があります

本成果に係る研究は生研支援センター「戦略的スマート農業の開発・改良」(JPJ011397)の支援を受けて実施

問い合わせ先	基盤技術研究室 フード・循環研究課 中央農業改良普及センター 専門技術室	電話 0598-42-6351 電話 0598-42-6705
参考になる資料	「有機質資材の肥効見える化アプリ (茶園版)」 (利用料無料) https://soil-inventory.rad.naro.go.jp/main/non_paddy	